

令和2年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	バイオコミュニティの形成			担当部局庁	政策統括官(科学技術・イノベーション担当)	作成責任者	森 幸子				
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和8年度	担当課室	参事官(産業技術・ナノテクノロジー)						
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	科学技術基本法(平7法130) 内閣府設置法(平11法89)第26条			関係する計画、通知等	バイオ戦略2020(基盤的施策)(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)						
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型コロナウイルス感染症への対応や、迅速な経済回復におけるバイオエコミー推進の重要性に鑑み、バイオ戦略2020に基づく拠点であるバイオコミュニティ(グローバル・地域)の形成支援を通じて、国内外から人材・投資を呼び込み、バイオ関連市場の拡大を図る。バイオコミュニティの形成は、新型コロナウイルス感染症による社会変化への対応として不可欠な基盤的施策であり、ワクチン開発やヘルスケア等を含む、全ての市場領域におけるバイオ戦略の推進を促進する。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ネットワーク機関において、必要な連携・調整・投資促進等を担う希少な人材(海外からの研究者、投資家等の誘致、各コミュニティのビジョンや共同事業計画策定、拠点形成自己評価(研究開発機関、企業等の評価)、海外で活躍する日本人研究者の回帰促進、海外での資金調達、海外市場開拓、情報発信、バイオエコミーに関する市民啓発活動等)の確保及び育成を、資金面を含め支援する。また、バイオコミュニティの形成(市場規模、投資額、雇用数等)を効率的に把握するための調査を実施する。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 (単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	250				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		0	0	0	0	250				
	執行額										
	執行率(%)		-	-	-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-	-	-				
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	科学技術基礎調査等委託費		-	250	「新型コロナウイルス対策関連要望額」250						
	諸謝金		-	0							
	計		-	250							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 年度	目標最終年度 2025年度	
	ネットワーク機関調整人材による、国内外からの投資件数について、グローバルコミュニティ1拠点につき1件以上実施する。		国内外からの投資件数		成果実績	件数	-	-	-	-	-
					目標値	件数	-	-	-	-	2
					達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-										
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込		
	各グローバルコミュニティのネットワーク機関との会合を活動指標とする。年2回程度(合計4回程度)開催を見込む。			活動実績	回数	-	-	-	-	-	
				当初見込み	回数	-	-	-	-	4	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込			
	ネットワーク機関会合開催経費/開催回数			単位当たりコスト	万円	-	-	-	-		
計算式				開催経費/開催回数		-	-	-	-		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策												
	施策												
	測定指標	定量的指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
				実績値	-	-	-	-	-	-			
				目標値	-	-	-	-	-	-			
		定性的指標	目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)							
						-	施策の進捗状況(実績)						
						-							
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	-												
新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-										
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
				成果実績	-	-	-	-	-	-			
				目標値	-	-	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-	-	-				
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
				成果実績	-	-	-	-	-	-			
				目標値	-	-	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-	-	-				
	本事業の成果と取組事項・KPIとの関係												
-													

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	バイオ領域における国家戦略であるバイオ戦略に基づく取組であるバイオコミュニティの形成は、新型コロナウイルス感染症への対応や、迅速な経済回復におけるバイオエコノミー推進の重要性に鑑みれば、国民や社会のニーズを反映した重要な事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	バイオコミュニティの形成は、バイオ戦略2020(基盤的施策)における重要施策であって、地域や領域横断的な取組を推進するものである。このため、地方自治体や民間等に委ねることにはなじまず、国費を投入して実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	バイオコミュニティの形成は、バイオ戦略2020(基盤的施策)における重要施策に位置づけられており、バイオ戦略の遂行に当たって不可欠な取組であり、諸外国の事例も踏まえ、理想像に向けた取組であるため、本事業は、政策目的の達成に向けて、必要かつ適切な支援事業であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
平成30年度							
平成31年度							

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

政策統括官(科学技術・イノベーション担当)
250百万円

〔必要な連携・調整・投資促進等を担う人材の確保及び育成の委託業務。バイオコミュニティの広報に係る委託業務。バイオコミュニティの形成(市場規模、投資額、雇用数等)を効率的に把握するための委託調査。〕

委託【一般競争契約(総合評価)】

民間業者

〔必要な連携・調整・投資促進等を担う人材の確保及び育成に係る業務〕

委託【一般競争契約(総合評価)】

民間業者

〔バイオコミュニティの広報に係る業務〕

委託【一般競争契約(総合評価)】

民間業者

〔コミュニティ形成に係る調査〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位:百万円)